

中富小だより

所沢市立中富小学校 学校通信第9号
平成29年12月1日発行

学校教育目標

「なかよく かしこく たくましく」

三つの約束

- あいさつ
- 整理整頓
- 時間を守る

1年生	48名	4年生	54名
2年生	54名	5年生	62名
3年生	56名	6年生	54名
全校児童数	328名		

“言葉がもつ力”を意識して

いよいよ師走。月ごとのカレンダーも1枚を残すのみとなりました。過日の校内音楽会では、たくさんのご来賓の皆様、保護者の皆様にお越しいただき、誠にありがとうございました。子どもたちは日頃の学習の成果、また、音楽会に向けて一生懸命に重ねた練習の成果を発揮でき、本年度も素晴らしい音楽会となりました。ご支援にあらためて感謝申し上げます。また、先月の10日には、校内音楽会に先立ち、5年生が市内親善音楽会に学校を代表して参加しました。5年生の子どもたちは、大変立派な態度・姿勢で会に臨み、とてもきれいな歌声を市民文化センターのホールに響かせました。中富小の代表にふさわしい姿でしたので、紹介いたします。

さて、残念ながら巷では「うざい」「きもい」・・・等、“全てを受け入れない、全てを否定する”意思表示とも取れる酷い言葉が飛び交っています。自分に向けて発してみると、とても嫌な暗い気持ちになります。相手や周囲のことを考えず、軽々しく刺々しい言葉を使い合い、刺々しい関係性の中で、自信と自己を表現する意欲を失い、傷を深めていく人が増えていく。何とかしていかなければいけない負の構図です。我々大人が範を示し、子どもがそんな言葉を使っていたときにはしっかり指導していけるようにしたいものです。

しかし、どうでしょう、自戒を込めて申し上げれば、私たち大人も刺々しい言葉を使っていることはないでしょうか。あるいは、子どもたちに向けて、自主性や個性の輝きに陰を落とすような言葉をかけているようなことはないでしょうか。例えば、「女の子なんだから(なのに)～。」「男の子なんだから(なのに)～。」等。言葉がもつ力は大きいものです。ここで挙げた例は、言葉の力がマイナスに大きく作用するケースです。私は、二学期の始業式で、子どもたちに、読んだ本の中の「思考が言葉を変えるように、言葉もまた思考や行動を変えていく。」「いい言葉には、自然といい言葉が返ってくる。」という一節を、噛み

校長 関根 祐一

砕きながら説明し、『優しく温かい言葉で応え合える中富小でいましょう。』という話をしました。安心して自分が自分でいられる、温かい関係性を作り上げていける素敵な言葉がたくさんあります。今月4日(月)から10日(日)は、人権週間です。この機会に、“言葉がもつ力”を意識して、日頃使っている言葉の一つ一つを確かめていければと思います。

先月末からの個人面談、5日(火)・6日(水)の授業参観・懇談会と保護者の皆様には大変お世話になります。この機会に伺えましたお話を、二学期のまとめ、そして今後の学校生活に活かしてまいります。今月も、ご支援・ご協力いただけますようお願い申し上げます。

車で来校される場合の経路に関するお知らせとお願い

既に、登校門に掲示するとともに、学校施設を利用されているスポーツ少年団の皆様にはお知らせしているところですが、子どもたちが活動している時間帯に車で来校される場合の経路につきまして、子どもたちの安全面を考え、下図のようにさせていただきます。ご理解いただき、同一方向で通行くださいますようお願いいたします。

* ほかご広場終了後の児童クラブへのお迎えにつきましては、子どもたちが外で活動していることはありませんので、午後6時以降は、従来どおり登校門のところを左折し多目的グラウンドに入ってください結構です。

所沢市立中富小学校 進入路 案内図

